

新聞で社会動向つかむ

エンジン 従業員が読む力養う



講師の池田実経済部長から新聞の読み方を聞くエンジン従業員ら＝浜松市中区で

NIB

ビジネスに新聞を

ガスと電力の自由化によってエネルギー業界が激変する中で社会の動きを読む力を養おうと、LPガス販売のエンジン（浜松市中区）は三十日、従業員向けの「新聞の読み方講座」を本社で開いた。

中日新聞東海本社の池田実経済部長が講師を務め、六十人が参加したほか、掛川、静

岡、富士、伊東の四市の支店・営業所に中継した。

池田部長は桃太郎の物語を例に、おぼあざんが川に洗濯に行ったことを新聞では先に書かず、鬼を退治した結論を最初に書く文章構成を説明。「新聞は毎日読んでもらうことを前提に作っており、忙しい時は見出しと前文だけでも読んでほしい」と強調した。

インターネットなどとの使い分けも紹介し、「新聞は多様な記事が載り、発見のあるメディアなので活用してほしい」と話した。
（山田晃史）